

「令和9年度危険物安全週間推進標語」及び 「令和8年度危険物事故防止対策論文」の募集

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図り、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進するため、「令和9年度危険物安全週間推進標語」及び「令和8年度危険物事故防止対策論文」を募集します。

1 令和9年度危険物安全週間推進標語

消防庁では、毎年6月の第2週を「危険物安全週間」とし、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を全国的に推進しています。この「危険物安全週間」を推進し、危険物の保安に対する意識の高揚を図るため、「危険物安全週間推進標語」を募集します。

募集期間 令和8年10月1日（木）～令和8年12月7日（月）

募集要項 どなたでも応募できます。詳細は別添1を御覧ください。

表 彰

- ・最優秀作 消防庁長官賞及び副賞（20万円）＜1点＞
- ・優 秀 作 全国危険物安全協会理事長賞及び副賞（10万円）＜1点＞
- ・優 良 作 記念品＜数点＞

※最優秀作は危険物安全週間推進ポスター等に活用する予定です。

令和9年度のポスターモデルは、2024年パリ五輪で団体銅メダルを獲得し、世界の舞台で挑戦を続けるフェンシングの^{みやわき}宮脇^{かりん}花綸選手を予定しています。

2 令和8年度危険物事故防止対策論文

令和7年中の危険物施設における事故発生件数は709件と、近年は高い水準で横ばいの状況が続いており、危険物関係団体・業界や消防関係行政機関では、事故の発生防止に積極的に取り組んでいます。このような危険物の事故防止対策を推進するため「危険物事故防止対策論文」を募集します。

募集期間 令和8年10月1日（木）～令和9年1月31日（日）

募集要項 どなたでも応募できます。詳細は別添2を御覧ください。

表 彰

- ・消防庁長官賞 賞状及び副賞（20万円）＜2編以内＞
- ・危険物保安技術協会理事長賞 賞状及び副賞（10万円）＜2編以内＞
- ・奨励賞 賞状及び副賞（2万円）＜若干名＞

※危険物安全週間推進標語及び危険物事故防止対策論文各賞の表彰式は、危険物安全週間中に東京で開催される危険物安全大会において行う予定です。

**令和8年度
危険物安全週間推進標語**

つかみ取れ！めざす無事故の頂を

連絡先 消防庁危険物保安室
今井、齋藤、盛
TEL 03-5253-5111(代表)
TEL 03-5253-7524(直通)

令和9年度 危険物安全週間 推進標語の募集

危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するため、毎年6月の第2週は危険物安全週間とされています。

この週間の行事を推進するため、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかける標語を募集します。

なお、最優秀作は危険物安全週間推進ポスターに活用する予定です。

令和9年度のポスターモデルは、2024年パリ五輪で団体銅メダルを獲得。技術と戦略を武器に、世界の舞台で挑戦を続けるフェンシングの宮脇花綸選手を予定しています。



写真／竹見修吾

宮脇花綸選手

(三菱電機株式会社所属)

応募方法

●Webによるものとします。

- ・複数応募可能ですが、1送信につき標語1点とします。
- ・Web以外での応募や入力事項に不備がある場合は無効とします。
URL <https://www.zenkikyo.or.jp>
(パソコン、スマートフォン、タブレット、携帯電話から応募可能です。)
- ・応募作品は未発表のものに限ります。



応募資格

どなたでも応募できます。

締切

令和8年12月7日(月) 17時まで

*締切日当日はアクセスが集中し、締切時間内に応募ができない場合がございますので、ご注意ください。

賞

- 最優秀作** 1点 消防庁長官賞と副賞 20万円
優秀作 1点 全国危険物安全協会理事長賞と副賞 10万円
優良作 数点 記念品

*副賞と記念品は危険物安全週間推進協議会からお渡しします。

*入選された場合はご本人に通知するとともに、消防庁及び(一財)全国危険物安全協会のホームページや関係新聞・広報誌等に作品とお名前及びお住まいの都道府県・市区町村名を発表いたします。

*入選作品の著作権は主催者に帰属するものとします。

選考方法

関係行政機関・学識経験者等による標語審査委員会の厳正な審査によって行います。

問い合わせ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号 日本消防会館8階
 (一財)全国危険物安全協会内 **危険物安全週間推進協議会事務局**
 TEL 03-5962-8921



令和8年度危険物安全週間推進ポスター

危険物とは

消防法で定められているもので、一般的に次のような危険性を持った物品をいいます。

1. 火災発生の危険性が高い
2. 火災拡大の危険性が高い
3. 消火の困難性が高い

*私たちの身近なものでは、ガソリン・灯油・油性塗料等があります。

主催：消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人 全国危険物安全協会

このリーフレットは危険物安全週間推進協議会が制作しています。

危険物安全週間について

目 的

今日、石油類をはじめとする危険物は、事業所等において幅広く利用されるとともに、国民生活に深く浸透し、その安全確保の重要性は益々増大しています。

このため、事業所等における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く国民の皆さまに対して危険物に関する意識の高揚と啓発を図ることとしたものです。

期 間

毎年6月の第2週（日曜日から土曜日までの1週間）

令和9年は、6月6日から6月12日まで

行 事

- 安全推進のための講演会、研修会等の開催
- 危険物の安全に関する標語募集
- 各種消防防災訓練等の実施
- 危険物保安功労者、優良危険物関係事業所等の表彰
- 危険物に関するポスター・パンフレットの配布等各種広報、啓発活動
- その他

推 進 団 体

危険物安全週間推進協議会

消防庁
都道府県
市町村
全国消防長会(消防本部・消防署)
(一財)全国危険物安全協会
(一財)消防試験研究センター
危険物保安技術協会
石油連盟
全国石油商業組合連合会
電気事業連合会
(一社)日本化学工業協会
日本ガソリン計量機工業会

ご応募待ってます！



過去の推進標語（最優秀作品）

年度	標 語	ポスターモデル	年度	標 語	ポスターモデル
平成2年度	“まさか”より“もしも”で守ろう 危険物	日 陰 温 子	平成21年度	安全は 意識と知識と 心掛け	福 原 愛
3年度	危険物いつも本番待ったなし	武 豊	22年度	危険物 事故は瞬間 無事故は習慣	根 本 美 緒
4年度	心・技・知・危険物には真剣勝負	三 浦 知 良	23年度	危険物無事故のゴールは譲れない!	川 島 永 嗣
5年度	危険物その時その場が正念場	古 賀 稔 彦	24年度	危険物 めざせ完封 ゼロ災害	田 中 将 大
6年度	一瞬のすきも許さぬ 危険物	松 永 成 立	25年度	あなたこそ 無事故を担う 司令塔	宮 間 あ や
7年度	確実な 攻守がきめての 危険物	羽 生 善 治	26年度	危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害	森田理香子
8年度	危険物 むき合う心 いざ集中	沢松奈生子	27年度	無事故へと 気持ち集中 はっけよい	遠 藤
9年度	気を抜くな 扱う相手は 危険物	平 尾 誠 二	28年度	危険物 決める無事故の ストライク	上野由岐子
10年度	安全は 日々の気持ちの 積み重ね	芹 澤 信 雄	29年度	あなたなら 無事故の着地 決められる!	白 井 健 三
11年度	危険物 一手先読む 確かな点検	梅沢由香里	30年度	この一球届け無事故へみんなの願い	上 地 結 衣
12年度	危険物 守りのかなめは 保守点検	古 田 敦 也	令和元年度	無事故への 構え一分の 隙も無く	清 水 希 容
13年度	危険物 めざすゴールは 無災害	田 中 雅 美	2年度	訓練で 確かな信頼 積み重ね	藤田菜七子
14年度	危険物 小さな油断も イエローカード	フリップトル江	3年度	事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム	リーチ マイケル
15年度	危険物 無事故の主演は あなたです	米 倉 涼 子	4年度	一連の確かな所作で無災害	村 川 春 圭
16年度	危険物 ゆるむ心の 帯しめて	谷 亮 子	5年度	意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ	ロコ・ソラーレ
17年度	危険物 かさねる無事故の 金メダル	野口みずき	6年度	次世代へ つなごう無事故と 青い地球	野 口 聡 一
18年度	自主点検 欠かさぬあなたに グランプリ	佐 藤 琢 磨	7年度	危険物無事故へ挑むゴング鳴る	一 井 上 尚 弥
19年度	危険物目指せ無事故のMVP	井 口 資 仁	8年度	つかみ取れめざす無事故の頂を	安 楽 宙 斗
20年度	安全へ確かなスマッシュ保守点検	潮田玲子/小椋久美子			

(敬称略)

プライバシー保護及び個人情報の取り扱いについて

*インターネット標語応募の申し込みサイトについては、プライバシー保護の為SSL暗号化通信に対応しております。

*ご応募いただいた中での個人情報は、厳重に保管・管理し、入選等についてのご連絡にのみ使用させていただきます。

危険物事故防止対策論文募集

消防庁の統計によると、令和 7 年中の危険物施設における事故発生件数は 709 件であり、依然として高い水準で推移しています。また、それらの事故原因をみると、維持管理や操作確認が不十分であるなどの人的要因によるものや、腐食疲労等劣化などの物的要因によるものが多くなっています。

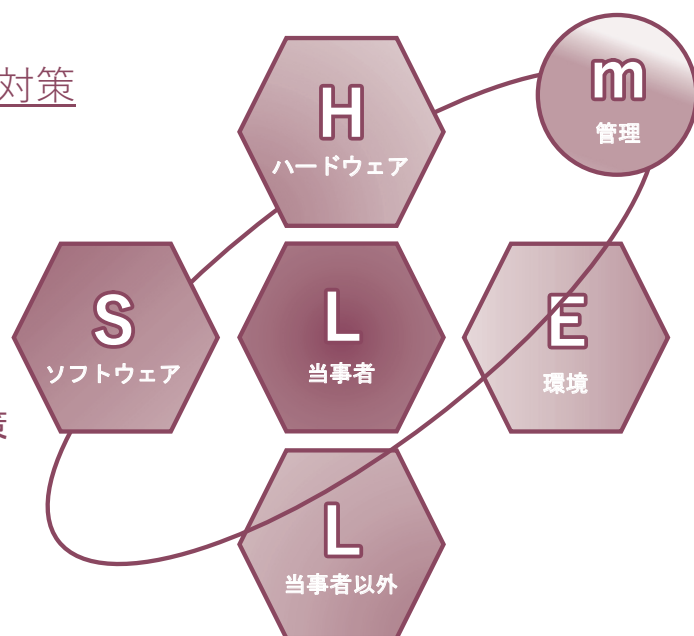
このような状況から、今後も事故防止対策に取り組んでいく必要があり、安全で快適な社会づくりに向けて、危険物の製造、貯蔵、取扱い、運搬に係る事故防止を図ることを目的として、広く論文を募集します。

論文のテーマ

危険物に係る事故防止や安全対策に関するもの

提言・アイディア・経験等 職場等の安全対策

- ・ 事故の拡大防止
- ・ 事故防止に関わる知見の蓄積・教育方法
- ・ 事故の分析
- ・ 危険性評価手法
- ・ 安全対策技術
- ・ 安全の科学技術
- ・ 最新技術を利用した危険物施設の事故防止対策
- ・ 少量危険物及び指定可燃物に関わる安全



賞

消防庁長官賞
危険物保安技術協会理事長賞
奨励賞

賞状及び副賞（20万円）＜2編以内＞
賞状及び副賞（10万円）＜2編以内＞
賞状及び副賞（2万円）＜若干名＞

応募期間

令和 8 年 10 月 1 日(木) から 令和 9 年 1 月 31 日(日)まで

お問い合わせ先

危険物保安技術協会 論文事務局

〒105-0001

東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル

E-mail: khk_ronbun@khk-syoubou.or.jp

ホームページ: <https://www.khk-syoubou.or.jp/>



危険物事故防止対策論文
詳細情報WEBページ

表彰

受賞の表彰式は、危険物安全週間（令和9年6月の第2週）中に東京で開催される、危険物安全大会において行います。

応募資格

特に制限はありません。どなたでも応募できます。

選考方法

学識経験者、関係行政機関の職員等による審査委員会において、厳正な審査を行います。

応募方法

- ① 以下の事項に留意して下さい。
 - ア 論文は、日本語で書かれたもので未発表のものに限ります。ただし、限られた団体、組織内等で発表された場合は応募可能とします。（一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。）
 - イ 受賞論文は、危険物保安技術協会のホームページ等に発表されますので、必要に応じて関係者の事前の了解を取ることをお願いします。
 - ウ 著作権その他の権利関係に問題が生じないようにご注意ください。
 - エ 消防庁の競争的研究費（消防防災科学技術研究推進制度）による研究課題に係る成果については、選考対象外となります。
- ② A4（字数換算：1ページあたり40字×40行程度）1枚以上10枚以内程度としてください。なお、図表及び写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をA4（1ページあたり1,600字程度）で行い、全体を10枚相当分以内程度としてください。
記入例は、ホームページをご確認ください。
- ③ 論文の概要を添付してください。
- ④ 「論文タイトル」、「氏名（ふりがな）」、「連絡先（住所、電話番号、E-mailアドレス）」及び、受賞論文発表時に明記する勤務先等がある場合の「勤務先名称及び所属」を記載した文書を添付してください。
- ⑤ 共同で取り組んでいる活動の場合には、連名の応募も可としますが、代表者が分かるように記載してください。
- ⑥ お問い合わせ先のメールアドレスまたは住所宛にお送りください。
なお、ご応募いただいた文章は返却いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

主催

消防庁、危険物保安技術協会

協賛

全国消防長会、一般社団法人日本化学工業協会
石油化学工業協会、石油連盟、電気事業連合会
一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本損害保険協会
公益社団法人日本火災学会、全国石油商業組合連合会（順不同）



皆様のご応募
お待ちしております！



制作：危険物保安技術協会